

ジョージタウン大学図書館を訪問して

櫻井 真理子 *

はじめに

2016年6月21日から28日の日程で、私立大学図書館委員会の助成を受け、「ALA 米国図書館研修会」に参加した。この研修では、様々な機関の図書館を視察し、ALA 年次総会に参加した。以下、訪問した大学図書館について、報告をする。

研修報告

ジョージタウン大学¹ (Joseph Mark Lauinger Memorial Library)

<概要>

創立	1789年
学校種別	私立総合大学 (15学部)
学生数	約16000名

ジョージタウン大学は、その名の通り、一つの街のような広大な敷地内にあった。校門を入った正面には、歴史を感じさせる校舎があった(写真1)。

* さくらい・まりこ／明治大学 学術・社会連携部 和泉図書館事務室

¹ ジョージタウン大学公開情報については以下を参照
<http://www.georgetown.edu/> (2016-11-17)



写真1 校舎



写真2 図書館エントランス(3階)

地下3階、地上3階建てのメイン図書館(写真2)を見学し、現地スタッフとのミーティングを行った。

地下1階にある Woodstock Theological Library (写真3) は、アメリカ最古の神学図書館である。貸出資料は約 19 万冊。貴重書は、15～19 世紀のものが約

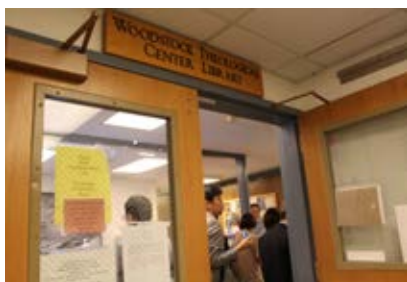


写真3 Woodstock Theological Library 入口

1 万 7500 冊所蔵されている。ジョージタウン大学で神学を専攻している学生並びにワシントン神学コンソーシアムの研究者と学生が主な利用者である。同フロアには、中国語・日本語・韓国語研究に関する参考図書があるが、混配し開架への移動予定である。利用者に資料を「みせる」ことが目的にある。

1 階には、2001 年に改築された、**Gelardin New Media Center** (写真4) がある。ここでは、一眼レフやプロ用ビデオカメラ等の最新機器が貸出されている。利用者は、完備されている写真スタジオ等で(写真5) 作品を編集し、共有することが可能。近年では、授業でも使用される事例が増えているという。司書 1 名と大学院生のサポーターが常駐している。

また、メディアセンターでは、学生のリテラシースキル向上の支援として、



写真4 入口(1階)



写真5 編集スタジオ



写真6 グループ学習エリア



写真7 充電ボックス

年間\$350のlydia.com²を無料で提供している。

2階には、グループ学習エリア(写真6)と個室が5部屋ある。いわゆる、ラーニングコモンズエリアに当たる。1970年につくられた図書館であることから、椅子と机のセットがあるのみであったが、グループ学習の場として、学生にはよく利用されている。

同フロアには、「MIDNIGHT MUG」という軽食や飲み物が購入できるカフェがある。館内で軽食が許可されているのは、2階のみ。許可されたエリア以外で飲食をする学生は、実態として少ない。カフェは、試験期には、深夜2時までまで開店している。

3階は、図書館のエントランス部分にあたる。サービスカウンター、レファレンスカウンターと静かな閲覧スペースに分かれている。このフロアでは、充電ボックス(写真7)が完備されていたことが印象に残った。

² Excel、Wordpress など約3500に渡る多彩なオンラインチュートリアル研修プログラムを提供しているウェブサイト

4 階は、主に書架と閲覧スペースで構成されている。特徴として、Maker Hub³ という 3D プリンター並びに作業スペースを完備した部屋が併設されていた。ここでは、様々なワークショップやプロジェクトが開催されている。米国の図書館では、MADE in LIBRARY というキャッチコピーとともに、3 D プリンターを完備することが一種のトレンドになっているようだ。

最上階には、事務エリア並びに Booth Family Center for Special Collections というジョージタウン大学のコレクションアーカイブがある。校友や外部の研究者の訪問が多いフロアとなっている。

さいごに

ジョージタウン大学で特に印象に残った、司書の言葉を紹介する。1 階 Geraldine Media Center で最新のメディア機器を備えることに対して、「何故、図書館で揃えているのか」伺ったところ、「学生の初めての体験を図書館でさせることに意義がある。」そんな言葉が返ってきた。

私的な見解になるが、メディアセンターで高価な最新機器が使えることは、ある意味、図書館に来ない学生が足を運ぶきっかけに成り得る。最初のきっかけは何であれ、より多くの学生に足を運んでもらうことが、図書館の資源を使ってもらうことに繋がるのではないかと考えさせられた。今回の研修で得たヒントをもとに、特に、図書館に来ない学生を引きこむきっかけづくりに励んでいきたい。

³ ジョージタウン大学図書館ホームページ参照 <http://www.library.georgetown.edu/makerhub> (2016-11-18)